



2014年9月22日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 勉
 (コード番号: 3171 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 赤木 正彦
 (電話番号 092-433-1228)

当社の親会社名 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2014年4月8日に公表した第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2015年2月期第2四半期連結(累計)業績予想の修正(2014年3月1日~2014年8月31日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	72,500	978	979	550	73.06
今回修正予想(B)	72,377	508	522	244	32.43
増減額(B-A)	△123	△470	△457	△306	
増減率(%)	△0.2	△48.1	△46.7	△55.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2014年2月期第2四半期)	68,775	862	868	342	45.54

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、消費税増税による消費者の購買意欲の低下などの影響等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは当第2四半期連結累計期間中に新店1店舗の開店及び既存店12店舗の改装を実施し、積極的な売上拡大策を行いましたが、7月から8月にかけての記録的降雨等の天候不順の影響により、第2四半期連結累計期間の売上高既存比が99.3%と伸び悩んだことにより、売上高は連結業績予想を下回る見通しです。

また、営業利益が連結業績予想を大幅に下回ることとなった主な要因は、売上総利益率が一部商品の価格据え置き措置等の影響により計画より0.4ポイント低下したことによるものであります。

売上総利益高の減少を吸収すべく販管費の削減に努めましたが、電気料金の高騰等により、販管費の削減はわずかに計画を下回る見通しです。

このような状況を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の業績予想につきまして、売上高は72,377百万円、営業利益は508百万円、経常利益は522百万円、四半期純利益は244百万円に修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては客数増加への取り組みや既存店舗の改装効果等を勘案し、2014年4月8日に公表しました連結業績予想を修正いたしません。

※上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって連結業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上